

千葉国体 2010 シンクロ 5位入賞



村田美希乃 (本校2年生) さん

(左写真の右側) にこれまでのシンクロ体験を書いてもらいました。

私は小学校1年生の夏にシンクロを始めました。キラキラの水着が着たいからという単純な理由から始めたシンクロですが、もう10年も続けています。

小学校5年生の時に初めて全国大会のジュニアオリンピック(JO)に出場しました。この時は、JOに出ることが目標でしたので、北信越予選を通過できただけですごく嬉しかったです。6年生から今の相方とDUE Tを組みはじめ、JOでは小学生の部で3位と、誰も予想していなかった好成绩を収めることができました。決勝に残れたら上出来だと思っていたので、嬉しさと同じくらいの驚きがありました。この時から、

全国大会での順位を意識し始めました。

中学校3年生では、TEAMで初めて日本選手権の決勝に残ることができました。これが今までで唯一、心の底から「嬉しい」と思えた結果です。9人みんな泣いて叫んで喜びました。この他にも、いい結果だったと言える試合はありますが、「まだ上に行けたのに」と、悔しい思いが少なからず残ってしまう試合がほとんどです。今年の国体も同じです。表彰台を狙っていただけに、5位という結果は悔しいものでした。

しかし、今シーズンで1番の演技ができたので、演技自体に悔いはありません。それに、素直に結果を受け止められました。それは、3位だった千葉県の素晴らしい演技を見たからです。開催県というプレッシャーを力に変えた演技に「すごい！」と圧倒されました。また、私たちの演技も、他のクラブのコーチや審判の先生に「上手だったよ」と声をかけていただけました。「感動したよ」と言ってくださった先生もいました。結果は悔しいのに、かけてもらえる言葉がとても嬉しかったです。シンクロもスポーツだから、もちろん点数や順位は大切です。でも、人の心に残る演技ができたなら、順位よりも価値のある喜びが掴めると、この国体を通して、改めて感じました。こんな素晴らしい競技ができて、私は幸せです。これからも、いつも支えてくれる家族やクラブの仲間、水泳協会の方々、「頑張ってるね」と笑顔で応援してくれる友達への感謝の気持ちを忘れずに、人を魅了する演技をして、その上で結果がついてくるように、頑張ります。